

事業概要書

事業名	熱海伊豆山お堂復旧プロジェクト				
開始日	2021年10月14日	終了日	2021年3月31日	日数	169日
団体名	NPO 法人熱海キコリーズ				
(カウンターパート)	NPO 法人 atamista				
担当者名	能勢友歌	スタッフ人数	6人		

事業費総額 (税込)	1,000,000 円
CF 事業枠	1,000,000 円
その他資金	円

事業目的	熱海市伊豆山で発生した大規模土石流による被害で半壊したお堂を復旧し、住民が再び集える環境を整えることで、日常を取り戻す一歩とする。
事業全体の概要	<p>●熱海キコリーズとは</p> <p>2016年に「森が好き・森を守りたい」という共通の想いを持った民間の有志が集まり、本業の傍らで週末林業/副業キコリをしている。</p> <p>任意団体として熱海の森林の課題に向き合って4年間ほど活動。継続した活動を行うために2020年からはNPO法人となった。</p> <p>熱海キコリーズは、森林保全のために間伐した木材を所有していたことから、土石流による行方不明者の捜索活動に従事していた自衛隊からの要請を受け、重機の足場用として木材を提供した。また、土木系の災害支援NPOにも木材を提供し、被災した家屋の復旧作業のための仮柱として活用された。</p> <p>●熱海キコリーズの目的と役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復旧に必要な資機材を調達し、清掃・修繕活動を行う。 2. 日々の活動を記録し、広報する。 3. 活動資金を適切に管理し、有効活用する。 <p>●取り組むべき課題</p> <p>2021年7月3日に熱海市伊豆山で発生した大規模土石流は、海沿いの国道135号線を越えて伊豆山港まで達した。土石流の通り道に位置しているは浜地区の逢初(あいぞめ)地蔵堂にも土砂が流入し、建物は半壊した。</p> <p>このお堂は、源頼朝の長女大姫の延命祈願のために、1184年(元暦元年)に母の北条政子が建立したと伝えられている。</p> <p>逢初地蔵堂は、伊豆山の歴史を感じることができる観光スポットとして位置づけられており、伊豆山神社を訪れる参拝者が立ち寄るコースの一つにもなっている。</p> <p>お堂には、古くから地域の守り神として親しまれてきた延命地蔵尊が安置されてお</p>

り、住民は定期的に念仏をあげるなどしていた。地蔵は無傷で残り、一時的に浜会館に安置されている。また、お堂では地蔵の功德をたたえて営まれる法会「地蔵講」が開かれるなど、住民が集まる憩いの場としても使われてきた。

逢初地蔵を長年管理してきた一般社団法人伊豆山浜生協会代表理事の中田正さんは、住民が一日も早く日常を取り戻せるよう、早期にお堂の修復や地蔵の手入れを行いたいとしている。

災害ボランティアセンターでは、被災した住宅や店舗の土砂撤去を優先的に行っており、お堂は後回しになるため、熱海市内で森の保全活動を行っている NPO 熱海キコリーズと熱海のリノベーションまちづくりを推進している **atamista** が早期復旧に向けて支援を申し出た。キコリーズからは 6 人、**atamista** からは 3 人が参加し 8 月下旬より復旧プロジェクトを開始した。今後、両団体のメンバーが、地元業者とも連携しながら休日などを利用して清掃や修繕作業を行うこととしている。

【今後の活動予定日】

10 月：10 日、17 日、24 日、31 日

11 月：7 日、14 日、21 日、28 日

12 月：5 日、12 日、19 日、26 日

●パートナー協働プログラム対象事業

逢初地蔵堂の床、内壁、外壁、天井、ふすま、ガラス戸などの清掃及び修繕を行うことで、浜地区の住民が集う場所を復旧させ、住民の心の支えである地蔵を元の場所に戻す。

●期待される効果

- ・皆が集うお堂を復旧し、住民同士の交流が再開できる環境を整備することで、地域の住民が日常を取り戻すことができる。
- ・住民が小さい頃から身近に感じていた地蔵を元の場所に安置することで、皆が安堵感を感じ、安心して暮らすことができる。
- ・観光スポットであるお堂を復旧させ、伊豆山に再び観光客を呼び込む。

事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
お堂の清掃、修繕。地蔵の再設置。	浜地区の住民約 100 人